



と しょ かん づう しん と しょ かん づう しん と しょ かん づう しん



発行 ● 豊島区立中央図書館
東京都豊島区東池袋四一五一一
ライズアリーナビル四階・五階 〒170-0844
電話 ● 03-3983-7861
FAX ● 03-3983-9904
ホームページ ● <http://www.library.toshima.tokyo.jp/>
発行日 ● 平成27年7月



トピックス

- 巻頭言 目白駅 駅長 前田美也子……………1ページ
- 古い本、新しい話 尾崎真理子……………1ページ
- 図書館と私 千早図書館奉仕員(司書) 大須賀誠……………2ページ
- 生涯の一冊 天狼院書店店主 三浦素典……………2ページ
- この本カフェ……………2ページ
- 絵本で会いましょう 風木一人……………3ページ
- 豊島の森……………3ページ
- 図書館イベント情報・図書館カレンダー……………4ページ



「本」の存在

私は、とにかくじっとしていることが苦手で外で遊ぶことが大好きな子供だったため、本を読むことはとても苦手でした。ただ、小学生時代に一冊の本に出会ってから、本を読む楽しさを知り本の魅力に取りつかれました。その本とは宮沢賢治の著書「注文の多い料理店」です。題名から美味しい料理がたくさん出てくるのではないかとつい食いしん坊な私は、手に取り読んでみたら、意外な展開にびっくりし、物語にひきずりこまれた記憶が鮮明にあります。この時から

「本」の存在を身近に感じるようになってきました。さて、大人になり私にとつての本の存在は、「コミュニケーションを図る上での大事なツールの一つ」となっています。ペテリオン社員と言われる域に入り親子ほど、歳離れた若手社員との共通の話題はほぼ皆無です。なにか話題はないかと色々探し、自分も体験でき感想を言えることと思い「本」にたどり着きました。「どんな本を読むの?」と話しを切り出し、読んだことがない本であれば、後輩はどんな作品や作家が好みなのか興味があるため、その本を読み感想を伝えます。お互いに本から感じ取った思いが違つたと議論が白熱しますが、それもまた楽しい時間です。このように本をき

本を通じて人がつながる

新航路 [35]

最近、図書館は地域コミュニティの核として着目され、本を通じて「人と人を結びつける」効果が期待されてきている。
カフェや書店で、「ゆる〜く」またはこだわりのテーマで参加者を募集している読書会も増えてきたように思う。本を通じて交流が生まれる「ビブリオバトル[®]」も認知度が上がってきている。
今年8月9日(日)には、新庁舎落成記念としてとしまセンタースクエアを会場に「としま図書館フェスティバル」を開催する。皆さんに本の楽しさや魅力を発信するための豊島区立図書館の合同フェスティバルである。本誌が発行されるころには、事務局は準備作業で「てんやわんや」しているだろう。図書館は普段は静謐を保たなくてはならない場所だが、フェスティバルにはぎやかに、本を通じて人の交流が生まれる催し

物にしたいと考えている。
さて、本から始まる新しいつながりを実感できたことがある。4年目となる泡坂妻夫特集展示をきっかけに、Twitterなどで情報を得たというミステリーファンから、希少本や原画展示協力の申し出をいただいた。泡坂妻夫展の後も、江戸川乱歩と同時期に活躍した「大下宇陀児と同時代の作家展」に、当時の貴重な資料をご提供いただいた。これをきっかけに図書館の事業にもご協力いただけそうである。ITの普及が本の売り上げや図書館の利用者減の最大要因と言われていたが、人とつなかりを生むそうしたITの発展はとても嬉しいものだ。
*ビブリオバトルは知的書評戦とも呼ばれ、発表者が「読んで面白い」と感じた本を5分間で紹介し、参加者投票で「読みたい本」を選ぶ、本を通じて人と交流することを目的としたイベントである。

古い本、新しい話 ④

人文学危機宣言

尾崎 真理子

5月中旬、ソウルの高麗大学を文学シンポジウムの取材で訪れた。戦後70年、日韓国交正常化から50年。長く日本の植民地となり、関係修復はなお難しい韓国で、議論はどう展開するのか。緊張して臨んだが、それは杞憂だった。東西各国から集まった一線の研究者21人は、日本語で書かれた文学の豊かさを、翻訳によってさらに引き出し、「世界文学」の舞台へいかに乗せるか。村上春樹の小説、東浩紀の批評、源氏物語、万葉集。流暢な日本語でそれぞれの研究成果を伝え合い、率直に意見を交換した。

討論が盛り上がった背景には、皮肉にもほぼ全員が共有する強い危機感があった。文学をはじめ成果が数字になりにくい人文社会科学系部門は、世界的に統廃合の憂き目にあるのだ。経済効率最優先の観点で改革をめざす新自由主義の波から、今やどの国の大学も逃れられない。日・韓・中国・台湾を「東アジア文学」と統合する流れも加速する。ところが、開港地の韓国だけは状況が異なった。20世紀末の金融危機以降、いち早く新自由主義の流れにさらされた韓国では、2006年秋、高麗大学の文系学部すべての教授が連名で「人文学危機」を宣言。約80大学の学長が賛同し、ついに政府も方針を転換した。現在では「HK(ヒューマニティ・コリア)事業」と呼ばれる、大学での研究促進と市民の教養強化事業に多くの予算が付き、少なくとも拠点校においては「人文学の全盛期と呼んでも過言ではない」状況にあるという。

帰国後、ある会合で壇上に立った数学者の藤原正彦氏が「新自由主義を掲げて文学や数学、哲学……役に立たないとされる学問を排除する風潮が強いが、これほど国力を後退させる愚かな行為はない!」と、熱弁を奮うのを聞いた。日本でも産業界競争会議の主導で大学改革がまさに進めつつとしている。日本の学者たちはこの「危機」をどう乗り越えるのだろうか。(読売新聞記者)

1971年、香川県生まれ。1993年東日本旅客鉄道株式会社に入社。品川駅、新宿駅、東京駅の「ひゅらぷらざ」で旅行業に従事。その後2008年に王子駅の助役、2012年東京支社営業部企画課を経て、2014年6月に目白駅長に就任。

生涯の一冊

(36)



書名：「1坪の奇跡」40年以上
行列表がとぎれない吉祥寺
「小さな味と仕事」
著者：稲垣 篤子
発行年：2010年12月
発行所：ダイヤモンド社発行

天狼院書店店主
「READING LIFE」編集長
みうら たかのり
三浦 崇典



1977年宮城県生まれ。
株式会社東京プライズエージェンシー代表取締役
役社長。劇団天狼院主宰。映画「世界で一番美
しい死体〜天狼院殺人事件〜」脚本・監督。
東京天狼院：豊島区南池袋3-24-16 2F

この本がなかったら天狼院書店は生まれなかったかもしれない

皆様はどう本を活かされていますでしょうか。
何度も読み返して、暗唱しているという本もあるか
もしれません。線を引き、ドッグイヤーをしすぎて、
もはやどこが重要なのかも判然としないという読み方
をされている方もいらっしゃるかもしれません。
究極的には、本は、たとえ一文でも使えれば、十分
に元が取れると僕は思うのです。
今回紹介する『1坪の奇跡』とは、まさにそんな本
です。
ご存じの方も多いかも知れませんが、この本は、40年
間行列表が途絶えたことのない「幻の羊羹」を売ってい

吉祥寺小ざさの代表稲垣篤子さんが著した本です。
行列表が生まれた秘密が、この一冊に書かれています。
僕は、この本をビジネスのバイブルにしています。
実は、天狼院書店をオープンしようと思った時、僕
の会社の銀行口座には15,000円ほどしかありま
せんでした。しかし、そんなとき、この本のこの一文
に出会ったのです。
『事業でもなんでも、事を始めるときに大方の人は、
「資金や設備がないからできない」と言う。潤沢に揃
えてからする事業なら、誰でもできる。なければ頭を
使えばいい』

なければ頭を使えばいい。この言葉がすっと
胸に浸透しました。いいんだと思いました。それ
でこの一文を信じて、お金はありませんでしたが、本
当に憂る間も借しんで頭を使いました。すつと新しい
天狼院という業態について、考え続けました。おかげ
さまで、天狼院をオープンして1年と8ヶ月経ち、9月
には福岡天狼院もオープンすることが決まりました。
そして、今年度中にある2店舗舗出す予定です。
もちろん、温かいお客様のおかげで商売させて頂い
ているのですが、この本の、この一文に出合っなけれ
ば今の天狼院書店はなかったかと思っております。
皆様も、ぜひ、『1坪の奇跡』をお読みくださいませ。
きっと、新しい発見があるはずです。天狼院書店
でお待ちしております。



図書館と私 24

千早図書館
図書館奉仕員(司書)
大須賀 誠

書架を作ること

私が勤務する千早図書館が、耐震補強等の
工事により長期の休館に入り、ご利用の皆様
には大変ご不便をお掛けしている。職員一同
は、一時異動した各館にて、ご迷惑をお掛け
した分を取り戻すべく、再開の日に向けて頑
張っているところである。今回は、休館に伴
う作業の中で感じたことを、公共図書館の書
架作りの面から書いてみたい。

公共図書館の書架作りには、ご利用の方の
ニーズ把握という点で、独特の難しさがある
と思う。即ち、これが専門・大学図書館であ
れば、求められるのは謳っている専門や教科
に関する資料であろうから、選書も目星が付
けやすいだろう。ところが、誰でも自由に使
える公共図書館では、ニーズもまさに千差万
別、特定分野絞って選書をスムーズに行
うといったことが難しい。このように、事前
に資料の利用予測が立て辛い公共図書館で
は、なるべく幅広い主題に添って資料を揃え、
なるべくその場その場で利用者の要望にお応
え出来るよう、待ち構えるような書架作りが
求められるのではないかと思う。

このような書架作りを実現する一方法とし
ては、豊島区立図書館全館をひとつの大きな
図書館と捉え、各館である程度分担して資料
を収集することだろう。要望にその場で、と
いう理想からはやや遠退くかも知れないが、
次善の策としては有用なものと思われる。

この度、休館に伴う作業の中で気付かされ
たのは、千早図書館にしかない資料を、思い
のほか利用して頂いていることだった。これ
を言い換えれば、千早のみの所蔵であっても、
決して無用ではない資料を、比較的多く収集
出来ていたということではないだろうか。豊
島区立図書館の1館として、上記の方法に貢
献出来るように、ある程度は書架を作れてい
たのではないかと思っているのである。

勿論、書架は生き物であり、書架作りは終
わりの無い仕事である。これからも司書の自
覚を持って、ご利用の皆様には喜ばれるよう
な書架作りに励んでいきたい。



3
杯目

旅先で読みたい本

ウイスキーのCMIに、「角瓶と文庫本持って旅に出る」というのがあった。
今なら、スマホと何かを持って、となるだろうか。旅先では、頁を開けば
おおいに語るが、あとはそばで黙っていてくれるぐらいの本がいい。行き先
によって、持っていく本の種類も様々だろう。
いや、人生それ自体が旅なのだから、どんな本でもありがたい同行者
には違いない。さあ、本棚に手をのばして1,2冊に「行くぞ」と声をかけよう。
皆さんは、どんな本を手にとりますか?



書名『地図のない道』

著者：須賀敦子 新潮文庫 2002年
日常から離れたところで読むならば、自分の好きな作家の「この一冊」という作
品がいい。しかも、荷物にならない重さぐらいのもの。
関西生まれで東京育ちの著者は、長くイタリアに暮らした。しかし夫の死をきっかけに、日本へ帰ることに。その後、イタリア通いをしながら、交流のあった友人達を心に去来するままに描いてゆく。ローマからミラノ、ベネチアから大阪と、人生の旅路に迷いながらも、いつもそこにあるのは弱者への深い思い。誠実な生き方に、人生そのものが旅なのだと思える。 ◎【小島 由紀子(こじま ゆきこ)】



書名『八月の暑さのなかで』 ホラー短編集

編訳：金原瑞人 岩波書店 2010年
ヤング・アダルト小説の翻訳を多数手がける作家が編集したホラー短編集。ポー
に始まり、サキ、F・ブラウン、ダールへと続くラインナップは、ちょっと古いのでは？
しかしそんな思いは、頁をめくればすぐに消える。恐怖や驚きの感情は、時代を超
えて呼び起こされるもの。「八月の暑さのなかで」の奇妙な不安感。怖さあまって
再読したくなる「ポドロ島」。ポーの短編「ある苦境」を思いきり現代風にした
「こまっちゃった」は、原作より読みやすく、おすすめ。日常を離れた旅先で、もう
一歩先の非日常の扉を開いてみよう。 ◎【古川 依子(ふるかわ よここ)】



書名『決めて断つ』

著者：黒田博樹 KKベストセラーズ ワニ文庫 2015年
「黒田が20億円を蹴って4億円の広島に来る!」。昨年末、このニュースが飛び
込んできた。大リーグからのオファーを断り、広島カープに復帰する黒田投手。
父親はプロ野球、母親は砲丸投げの選手。この両親のもと、黒田少年は厳しく
育てられた。学生野球、プロ野球を経て米国大リーガーへと成長できたのは、何
よりも親のおかげだという。旅は人を育てるもの。進化し続ける黒田投手の心模様
を道づれに、私たちも初夏の旅に出かけよう! ◎【石関 慎一(いしせき しんいち)】



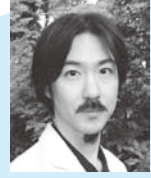
寄稿者はマナビト生です。(詳しくは「図書館通信」36号をご覧ください。)

絵本で会いましょう

(全4回) 第1回 新連載

風木 一人 (かぜき かずひと)

東京都生まれ。絵本作家・翻訳家。創作に『うしのもーさん』、『ぬいぐるみおとまりかい』、『ふしぎなトラのトランク』、『ながいながいへびのはなし』など、翻訳に『こくぼんくまさん つぎへいく』、『おきな木のおはなし』などがある。池袋コミュニティ・カレッジで絵本講座開講中。
http://www.geocities.jp/kzk227/



なぜ絵本作家か

なぜ小説家ではなく絵本作家を目指したのかと聞かれることがあります。単純です。セックスと殺人事件を書かなくてすむからです。その二つはあまりにも書かれすぎて、今さら自分がやってもつまらない気がしました。子どもの本ならもちろん、そのへんは避けて通れます。

とはいえ当初はくが書き始めたのは絵本ではなく童話でした。二つは違うのです。一言でいえば童話は文章のみで成立する作品、絵本は文章と絵が合わさって成立する作品です。ぼくは日ごろ落書き一つしない人だったので、絵を描くことも描けることも全く思わず、したがって絵本は頭になかったのです。

あるとき、とんでもなく長いへびの話を知りました。あまりにも長すぎて頭と尻ほがすっかすっかしてならぬくらい長いへび。頭は言い

ます。」「じつは奴今(いま)びびりててゐるかなあ。」これはイケると感じました。しかし書いてみると難しかったです。へびの非常識なほどの長さを魅力的に表現することがなかなかできなかったのです。

苦心していたある日、ひらめきがありました。文ではなく絵のアイデアでした。画面を上下に分割し、上半分で頭の話、下半分でしつぽの話を進める。それぞれの背景を全く違う場所にすれば、たとえば街と山の中にすれば、二人がどんなに遠く離れているかが一目でわかるではないか！(今図)

このひらめきがぼくを絵本作家にしました。絵と文を組み合わせて使えば、文だけでは決してできない表現ができる。その面白さが気がついたのです。



「あたまがまちにいても、しつぽはやまのなか」

自信だけはなぜだかあった

絵本作家になるには主に二つの道があります。コンテストに応募するか、出版社に直接持込るかです。ぼくは後者でした。理由は簡単。コンテストは完成品しか応募できません。ぼくは文だけ書いて、絵は他の方にお願ひするつもりだったので、コンテストは無理だったのです。

持込みのため、へびの話のダミーを作りました。ダミーとは絵本のヒナ型です。イメージを伝えるためには簡単な絵も必要となります。ミスではなくへびであることが分かる程度の絵をなんとか描きました。

そして持込み。本の最後には奥付というものがあまして、ここに出版社の住所・電話番号などが書いてあります。これを見ていきなり電話するのです。当時、絵本出版社の方は優しかったです。突然電話して自作絵本を見てもらい

たいといえればたいいてい会ってくれました。今は持込みが増えすぎて事情が変わったようです。

「ぼくはなぜだか自信満々で、すへにも」ついで出版し「まじつ」と言ってもおぼえるまじつなつもりでいました。ところが、それは間屋があるささい。断られたのです。それも、ええ、10社続けて。

ムム、と思いましたが、箸にも棒にもかからないという感じではない。面白がってはもらえない。でも出版はできない。打たれ弱い人ならここで諦めたかもしれないし、殊勝な人なら書き直すなりしたでしょう。ぼくは一文字も直しませんでした。なぜだか自信があったからです。

海外4カ国へ

11社目。一文字も直さなくても11社目とどう決まりました。小峰書店のKさんという編集者が認めてくれたのです。持込みを初めてから2年近く経っていたのでしょうか。どのくらい嬉しかったかはわかりませんが、絵を高島純さんに描いていただき「ながいながいへびのはなし」は2001年12月に無事出版されました。

おかげさまでこの絵本はとも評判がよく、フランス、韓国、台湾で翻訳され、今年も中国でも刊行される予定です。日本以外の国のお母さんが愛する我が子に、ぼくにはわからない言葉でこの絵本を読んでもあげることが想像することでも不思議な気持ちがあります。

初めはぼくの頭の中にしか存在しなかった物語が、絵本となることで多くの方と共有され、さらに海外にまで広がっていく。これこそ作家の喜びでしょう。



「ながいながいへびのはなし」
風木一人/文、高島純/絵、小峰書店

豊島の森

このコーナーは、新庁舎の特徴として掲げている四つのテーマに関連した図書資料を紹介する連載です。初回は庁舎10階の豊島の森。豊島の森は、豊島区の大切な自然を次世代へつなげるためにつくられました。かつて

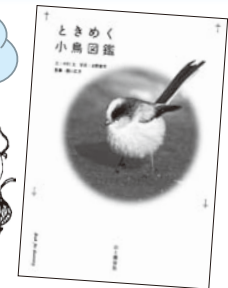
区内にあった森や川の環境を再現し、豊島区が目指すべき未来の風景を考える場所として整備されています。もうすぐ夏休みです！今も近隣で見られる植物や生き物を調べて興味を広げましょう。



葉っぱで調べる身近な樹木
よくみる木の名前・性格がわかる
濱野周泰/著 誠文堂新光社



豊島の森にはどんな木があるの？



ときめく小鳥図鑑
中村文/文 吉野俊幸/写真
樋口広芳/監修
山と溪谷社



植物だけでなく、鳥や虫のことも知りたいな...



フィールドガイド
身近な昆虫識別図鑑
見わかるポイントがよくわかる
海野和男/著 誠文堂新光社

そんなときは図書館で調べてみよう！

- 雑誌 野鳥 ●
日本野鳥の会
- ピオトープづくり実践帳 ●
～設計から施行、メンテナンスまでがひと目でわかる
養父志乃夫/著 誠文堂新光社
- 自然図鑑 ●
～動物、植物を知るために～
さとうち藍/文、松岡達英/絵、
福音館書店

このほかにも、『区民が調べた豊島区のかんきょう～身近な環境を見直すために』平成4年～18年発行のシリーズも図書館にあります。



新庁舎落成記念「としま図書館フェスティバル」

赤ちゃんから大人までを対象にした豊島区立図書館7館が力を合わせて挑むイベントです。図書館が「本人と」だけでなく、「人と人」の出会いを結ぶ場所になれたらいいなあ♪との願いを込めました。そしてもちろん本の魅力や楽しさをご紹介します。

- 日時** 8月9日(日) 午前10時~午後4時
- 会場** 豊島区役所1階としまセンタースクエア
- 内容** ★「ピピリオバトル」(テーマ:ジャンルは自由) 午前11時~正午
 バトラー4名、観覧者50名(先着順)
 (申込期限) バトラーは 7月24日(金) 午後5時、
 観覧希望者は 8月7日(金) 午後5時まで。
 (申込先) 中央図書館企画調整グループ
 (電話 3983-7861または FAX 3983-9904、
 Eメール A0027900@city.toshima.lg.jp)
- ★絵本作家・風木一人さんのお話と「大人向け絵本 読みあいサロン」
 午後2時~3時30分 お気に入りの絵本をお持ちください。
- ★その他、「工作会」「子ども向けお話し会」「スタンブラー」
 「謎解きゲーム」など

巣鴨キネマサロン

映画会「古都」(原作:川端康成) 上映時間126分

- 日時** 8月30日(日) 午後2時~
- 場所** 巣鴨図書館地下会議室

子ども点字教室 ~点字を書いてみよう、読んでみよう~

点字器を使用して点字を打つ体験、点字に関する図書のご紹介

- 日時** 8月8日(土) 午前10時~午後0時30分
- 場所** 中央図書館5階会議室
- 対象** 小学3~6年生。複数人での申込み可。
- 定員** 15名
- 申込み先** 7月12日午前10時から
 点字図書館 ☎3983-7864 ※先着順

それぞれの図書館のテーマは次の通りです。事前申し込み不要、参加費無料です。

中央図書館	時空図書館レファレンス KIDS ~時空をこえて探検に出かけよう~	きみは、レファレンス KIDS に任命された。 謎を解き明かすため過去へ未来へ...さあ、出発だ!
巣鴨図書館	出発進行! ナノ解きの旅に出かけよう。	魔法のチケットを手に入れて、じつづにかけられた呪いを解け!七つのアイテムが秘密の鍵だ!!
上池袋図書館	探偵カミイと少年少女探偵団	「探偵団メンバー募集中!!」 大きな謎を解き明かすには、君のチカラが必要だ。協力求む!!
池袋図書館	きえたふくろうをさがせ! ~海賊につかまったふくろうをたすけよう~	池袋図書館のふくろうくんが、海賊にさらわれた。問題を解いて、ふくろうくんをみつめよう! 図書館タマテイはきみだ!!
目白図書館	深海のナノをときあかせ!	いっしょに船長とともに、深海の宝をさがし出そう!

図書館イベント情報

◆児童・あかちゃんおはなし会

毎週、本の読み聞かせなどのイベントを行っています。遊びに来てくださいね。

- 各図書館の連絡先
- 中央図書館 3983-7861
 - 池袋図書館 3985-7981
 - 駒込図書館 休館中
 - 目白図書館 3950-7121
 - 巣鴨図書館 3910-3608
 - 千早図書館 3955-8361
 - 上池袋図書館 3940-1779
 - 雑司が谷図書貸出コーナー 3590-1335

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント		
	幼児・小学生	あかちゃん	7月	8月	9月
中央図書館 児童コーナー (※印は会議室)	日曜日 午後2時	最終日曜日 午前11時	★5日・おはなしこうさく会 午後2時 ★18日・豊島岡女子学園によるおはなし会 ★19日・ボランティアによるおはなし会 (池袋親子読書会) 午後2時	★7日・こわいおはなし会 午後2時※ ★8日・子ども点字教室 午前10時30分 ★22日・夏休み科学工作会 午前10時※	★6日・おはなしこうさく会 午後2時 ★19日・豊島岡女子学園によるおはなし会
巣鴨図書館 地下会議室	水曜日 午後3時	第3火曜日 午前11時	★1日・たなばたスペシャル 午後3時 ★29日・ほんのじかん こうさくかい 午後3時	★5日・こわいおはなしスペシャル 午後3時 ★12日・1日図書館員のよみかかせ 午後3時 ★19日・ほんのじかん こうさくかい 午後3時 ★26日・ほんのじかん スライド 午後3時	★16日・ほんのじかん おおきいほんのひ 午後3時 ★30日・ほんのじかん えいが 午後3時
上池袋図書館 おはなしのへや (※印は地下ホール)	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時※	★1日・さくらんぼおはなしかい —たなばたスペシャル— 午後3時	★5日・さくらんぼこうさくかい —スライムをつくろう— 午後3時 ★12日・平和普及事業スペシャル 午後3時 ★19日・さくらんぼおはなしかい —こわいおはなしスペシャル— 午後3時	★23日・さくらんぼこうさくかい 午後3時
池袋図書館 ワークルーム	土曜日 午後2時30分 (9/19はお休み)	第1水曜日 午前11時	★25日・たんぼぼえいかい 午後2時30分 「ふしぎないど」(18分)	★15日・こわいおはなしスペシャル—小学生版— 午後2時30分 ★22日・たんぼぼえいかい 午後2時30分 「トイレの花子さん」(30分)	★26日・たんぼぼえいかい 午後2時30分 「笛ふき岩」(19分)
目白図書館 地下区民集会所	水曜日 午後3時	第1水曜日 午前11時	★22日・かきくこうさくかい 午後3時	★19日・あいうえおはなしかい —平和普及おはなし会スペシャル— 午後3時 ★26日・あいうえおはなしかい —こわいおはなしスペシャル— 午後3時	★16日・かがくあそび 午後3時
千早図書館 視聴覚室	水曜日 午後3時30分	水曜日 午前10時30分	休館中	休館中	★16日・おはなしええよんで 午前10時30分 ★16日・ほんとおはなし会 改修記念スペシャル 午後3時30分 ※工事の状況によって変更になる場合があります。

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

編集後記

謎解きイベントが各所で開催され、ブームとなっています。かく言う私もハマっているひとりです。ホラーとは一味違ったドキドキワクワクを味わえる謎解きは夏にぴったりですね。「としま図書館フェスティバル」でも開催予定ですのでお楽しみに。(注)

○は土日は休館日	中央図書館	巣鴨・池袋・目白図書館	上池袋・千早(※)図書館	雑司が谷図書貸出コーナー
平日	午前10時~午後10時	午前9時~午後7時	午前9時~午後7時	午前10時~午後7時
土日祝	午前10時~午後6時	午前9時~午後6時	午前9時~午後6時	午前10時~午後5時
7月	⑤ 6 7 8 9 10 11 ⑫ 13 14 15 16 17 18 ⑲ 20 21 22 23 24 25 ⑳ 27 28 29 30 31	⑤ 6 7 8 9 10 11 ⑫ 13 14 15 16 17 18 ⑲ 20 21 22 23 24 25 ⑳ 27 28 29 30 31	⑤ 6 7 8 9 10 11 ⑫ 13 14 15 16 17 18 ⑲ 20 21 22 23 24 25 ⑳ 27 28 29 30 31	⑤ 6 7 8 9 10 11 ⑫ 13 14 15 16 17 18 ⑲ 20 21 22 23 24 25 ⑳ 27 28 29 30 31
8月	② 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 11 12 13 14 15 ⑬ 16 17 18 19 20 21 22 ⑭ 23 24 25 26 27 28 29 ⑳ 30 31	② 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 11 12 13 14 15 ⑬ 16 17 18 19 20 21 22 ⑭ 23 24 25 26 27 28 29 ⑳ 30 31	② 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 11 12 13 14 15 ⑬ 16 17 18 19 20 21 22 ⑭ 23 24 25 26 27 28 29 ⑳ 30 31	② 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 11 12 13 14 15 ⑬ 16 17 18 19 20 21 22 ⑭ 23 24 25 26 27 28 29 ⑳ 30 31
9月	① 2 3 4 ⑤ ⑬ 14 15 16 17 18 19 ⑳ 21 22 23 24 25 26 ㉑ 27 28 29 30	① 2 3 4 ⑤ ⑬ 14 15 16 17 18 19 ⑳ 21 22 23 24 25 26 ㉑ 27 28 29 30	① 2 3 4 ⑤ ⑬ 14 15 16 17 18 19 ⑳ 21 22 23 24 25 26 ㉑ 27 28 29 30	① 2 3 4 ⑤ ⑬ 14 15 16 17 18 19 ⑳ 21 22 23 24 25 26 ㉑ 27 28 29 30

※千早図書館は9月上旬まで休館予定です。カレンダーは開館後のものです。

特別整理休館のお知らせ

- 下記の日程で休館します。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願い致します。
- 9月10日(木)~9月14日(月) **上池袋図書館**
 - 9月16日(水)~9月20日(日) **池袋図書館**
 - 9月23日(水)~9月26日(土) **目白図書館**
 - 9月28日(月)~10月5日(月) **中央図書館**
 - 9月28日(月)~10月5日(月) **雑司が谷図書貸出コーナー**

図書館カレンダー